

三島駅南口周辺整備

アナ： 「市長が語る2024三島」第21回の今日は、「三島駅南口周辺整備」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 三島駅南口の再開発事業は、工事が進んでいますね。

市長： はい。皆様のご理解とご協力のもと、おかげ様で順調に工事が進んでおります。この再開発事業では、健康医療や子育て支援に関する施設の導入、商業施設や住宅、立体駐車場などの整備が計画されています。

アナ： それは楽しみですね。完成はいつ頃になりますか。

市長： 竣工は令和10年2月を見込んでおりまして、あと3年半ほどで完成する予定でございます。

三島にいらした際の出発点として、また、伊豆半島全体の玄関口としても、大変重要な場所となりますので、にぎわい創出の起点ともなるよう、三島市としましても全力で事業を推進しております。

アナ： 多くの方が訪れたいような施設になってほしいですね。

市長： はい。市民の皆様にも、ぜひ楽しみにお待ちいただきたいと思います。

アナ： 再開発区域の周辺の道路も工事しているのを見かけますが、あれはどのような工事になるのでしょうか。

市長： 三島駅南口の周辺の道路では、電線類を地下に埋設する無電柱化事業を進めております。

この事業には、道路上の電柱や電線をなくすことによって、美しい街並みにすることをはじめ、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を実現し、歩行者や車いすの通行を円滑にしたり、災害時に電柱が倒れるのを防ぎ、車輛が円滑に走れるようにするなど、安全で快適な道路空間を確保するという目的がございます。

三島市内では、本町の大通りや芝町通りで既に完了していますが、三島駅南口周辺の道路も同様に整備を進めているところです。

アナ： 確かに大通りや芝町通りは、電柱がなくなって、視界が広がったと感じます。また、いつもお花がきれいに飾られていて、まさに「居心地が良く歩きたくなるまちなか」だと思います。

それに、無電柱化は安全面でも重要な取り組みということですね。

市長： その通りです。歩きたくなるまちなかとしていくためには、歩行空間の安全性や快適性は欠かせないものと考えております。

アナ： 三島駅南口周辺が新しく生まれかわるために、再開発事業を核として、

無電柱化事業も並行して進めていらっしゃるということがわかりましたが、このほかにも三島駅南口の関係で進めていらっしゃる事業などはございますか。

市長： はい。再開発事業、無電柱化事業の他に、三島駅南口駅前広場の整備計画の策定も進めております。

三島駅は、県内で乗降客数が3番目に多い駅でございまして、多くの方が利用する駅前広場をより使いやすく、魅力あるものにすることも大変重要であると考えております。

具体的には、東西にあるタクシーとバスのロータリーを入れ替えるほか、バスが乗客のより近くに停車でき、乗降しやすい形状にしたり、雨に濡れずにバスやタクシーに乗れるよう屋根を設置することなどを検討しております。

アナ： ご説明いただいた事業が完成すると、三島駅南口の駅周辺地区は様子が大きく変わりますね。

市長： はい。三島駅南口の周辺地区は、ご説明いたしました事業を一体的に進めることによりまして、今後数年で、よりウオーカブルで快適、そして魅力的な空間に大きく変貌してまいります。

これらの事業を着実に進め、三島というブランドをさらに確固たるものとすることで、市民の皆様のシビックプライドをより一層高め、また、民間投資を呼び込み、「三島に住んで良かった、来て良かった、また行きたい」と思っただけのまちづくりにつなげてまいります。

アナ： とても楽しみにしています。

最後に、お聞きの皆様にお伝えしたいことがございましたらお願いします。

市長： 現在、着実に事業を進めておりますが、進めるに当たり何と言っても大切なのは、安全の確保です。

三島市といたしましては、駅前で工事を進める際に、まずは安全を第一に、加えて通勤・通学などで駅やその周辺の道路を利用される方へできるだけ配慮をしながら、人と車が円滑に通行できるよう力を尽くしてまいりますので、

ご不自由をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。